



女性のコーチはいない!?

このコラムが会員の皆様の目に留まる頃は、マスクの着用は個人の意思に任されて20日以上経過したところでしょうか。通勤電車内ではまだ着けていたいな、花粉症も楽になるし、などと考えている筆者であります。お客様、社員同士を隔てていたあのアクリルボードやビニールカーテンが無くなっているのでしょうか。

インドア、そしてアウトドアでのレッスンについては各社それぞれお客様、従業員のために対応策を実施なさっていることと思います。マスクを外すという思い切った舵を切ったことは、再びこのウィルスによる感染の急拡大は起こらないという証なのでしょう。

さて3月8日は国際女性デーでした。およそ120年前にニューヨークで女性が婦人参政権を認めろ!と抗議デモをした記念日だそうです。男女の格差を無くそうという記念の日です。世界経済フォーラムの発表によると日

本のジェンダーギャップ指数(経済、政治、教育、保健の分野で男女格差を表す指数)は世界146か国中なんと116位(2022年)だそうです。(2022年1位はアイスランド、13年連続首位でした。)そう言われても!?!と思った読者の皆様は少なく無かったのではないのでしょうか?「だって俺ン家はカーチャンの方が強いもん!」(筆者の声)などとおっしゃってはいけません。自らの周囲を見回せば、お客様は女性が半分いらっしゃるのに、女性コーチの比率は数%!中には女性のコーチがいないスクールも!女性がコーチ職につきたいといわれる業界になるためには、就業規則をはじめ、各種規定を見直し、当たり前という慣習を見直して格差解消のために何をすべきか真摯に取り組むことが必要です。それがテニス事業の発展に直結するのではないのでしょうか。

～気をつけましょう!この季節～

テニスシーズン到来です。

しかし、まだまだ気候も不安定な季節の変わり目であり、コロナの脅威も無くなったわけではありません。

新入会員様や新人スタッフ、異動も増える時期ですので、各種対応、スタッフ研修を徹底しましょう。

～スタッフ・レッスン～

1. 新人スタッフが増える時期です。また異動により新たな事業所に配属されるスタッフもいると思います。
安全管理、避難誘導についてしっかり研修しましょう。
この時期は全スタッフにあらためて研修することをお勧めします。
2. 体調へのケアを強化しましょう。
季節の変わり目は寒暖の差も大きくなります。レッスン中の水分補給や会員様の体調へのケアについて、コーチに徹底しましょう。
3. 準備体操をしっかりと行いましょう。
暖かくなってきても身体を徐々に慣らしていく事は一年を通じて同じです。
レッスンに遅れて参加のお客様にも必ず体操をさせましょう。

4. 感染対策

マスク着用については政府指針等を基本にガイドラインを策定しましょう。

気温が上がってきますので、コーチの健康にも留意しましょう。

～施設～

1. 災害時の緊急避難路や避難場所を確認しましょう。
2. 消火器や消火栓の設置場所を確認しましょう。
3. AEDの設置場所を確認しましょう。またバッテリー・パッドの使用期限も確認しましょう。
4. 救急箱の中身を確認し、足りないものは補充しましょう。
5. 最寄りの病院リストを再確認しましょう。

今一度、基本項目の確認をしましょう!

